

# 第90回 定時株主総会 招集ご通知

▶開催日時

平成25年3月22日(金曜日)  
午前10時(受付開始 午前9時)

▶開催場所

パレスホテル東京<sup>2</sup>階「葵」  
東京都千代田区丸の内一丁目1番1号

(開催場所が昨年と異なりますので、末尾  
の「株主総会会場ご案内図」をご参照の  
上、お間違えのないようご来場ください。)

▶書面及びインターネットによる  
議決権行使期限

平成25年3月21日(木曜日)午後5時40分まで

協和発酵キリン株式会社

証券コード：4151

## 株主のみなさまへ

株主の皆様には、平素より当社経営へのご理解、ご支援をいただきまして、誠に有り難く心より御礼申し上げます。

当社グループは、「ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。」というグループ経営理念を掲げ、新薬開発を通じて世界の人々の健康と豊かさに貢献する企業グループとして、グローバル・スペシャリティファーマへの飛躍を目指しております。

また、日々の行動の拠りどころとして、「たった一度の、いのちと歩く。」をキーメッセージとした「私たちの志」を定めております。「私たちの志」は、病気と闘うすべての人々に笑顔を届けるために、「いのち」にまっすぐ真摯に向き合い、医療従事者の方々とともに「いのち」と歩み続けるという、我々協和発酵キリン社員の思いを込めたものです。

これからも、時代や環境変化の先を読む経営のスピードを意識し、アンメット医療ニーズに応える新薬を生む高い創薬力や、バイオ医薬品などにおける世界最高水準の生産技術を通じて、優れた品質の製品をご提供してまいります。

当社グループは、透明性、公平性、コンプライアンス、社会との共生など企業の社会的責任を誠実に果たし、生命関連企業として、広くすべてのステークホルダーから信頼される企業でありたいと考えております。

今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

花井 陳雄

平成25年3月6日

協和発酵キリングroupは、  
ライフサイエンスと  
テクノロジーの進歩を追求し、  
新しい価値の創造により、  
世界の人々の健康と豊かさに  
貢献します。

お客さま

株主・  
投資家

コミュニティ

従業員

ビジネス  
パートナー

## 目 次

|                                                                   |    |
|-------------------------------------------------------------------|----|
| 第90回定時株主総会招集ご通知                                                   | 3  |
| 株主総会参考書類                                                          | 7  |
| 第1号議案 剰余金の処分の件                                                    | 7  |
| 第2号議案 取締役8名選任の件                                                   | 8  |
| 第3号議案 監査役2名選任の件                                                   | 12 |
| 第4号議案 株式報酬型ストックオプション<br>として発行する新株予約権の<br>募集事項の決定を当社取締役会<br>に委任する件 | 14 |
| 招集通知添付書類                                                          |    |
| ▶ 事業報告                                                            | 17 |
| ▶ 連結計算書類                                                          | 45 |
| ▶ 計算書類                                                            | 48 |
| ▶ 監査報告                                                            | 51 |
| ご参考                                                               | 55 |

定時株主総会後に株主の皆様にお送りしておりました「株主のみなさまへ」はご送付を中止し、今後は招集ご通知のご送付をもって代えさせていただきます。  
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

招集ご通知

株主総会  
参考書類

添付書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

ご参考

株 主 各 位

証券コード 4151

平成25年3月6日

東京都千代田区大手町一丁目6番1号

**協和発酵キリン株式会社**

代表取締役社長 **花井 陳雄**

## 第90回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社第90回定時株主総会を下記により開催いたしますので、何とぞご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、次のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいますて、議決権をご行使賜りますようお願い申し上げます。

### ▶ 書面によって議決権を行使していただく方法

同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、**平成25年3月21日（木曜日）午後5時40分まで**に到着するようご返送ください。

### ▶ 電磁的方法（インターネット）によって議決権を行使していただく方法

6ページの「インターネットによる議決権行使について」をご確認の上、**平成25年3月21日（木曜日）午後5時40分まで**に賛否をご入力ください。

敬 具

## 記

|   |              |                                                                                                                                                                                     |
|---|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 日 時          | 平成25年3月22日（金曜日）午前10時                                                                                                                                                                |
| 2 | 場 所          | 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号<br>パレスホテル東京 2階 「葵」<br><u>開催場所が昨年と異なりますので、末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照の上、お間違えのないようご来場ください。</u>                                                                              |
| 3 | 目 的 事 項      |                                                                                                                                                                                     |
|   | 報 告 事 項      | 1. 第90期（平成24年1月1日から平成24年12月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件                                                                                                           |
|   | 決 議 事 項      | 2. 第90期（平成24年1月1日から平成24年12月31日まで）計算書類報告の件<br><b>第1号議案 剰余金の処分の件</b> <b>第4号議案 株式報酬型ストックオプションとして発行する新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任する件</b><br><b>第2号議案 取締役8名選任の件</b><br><b>第3号議案 監査役2名選任の件</b> |
| 4 | 招集に当たっての決定事項 | インターネットにより複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いします。<br>インターネットと書面の両方で議決権行使をされた場合は、後に到着したものを有効な議決権行使としてお取り扱いします。なお、インターネットと書面が同日に到着した場合は、インターネットを有効な議決権行使としてお取り扱いします。          |

以 上

- 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。また資源節約のため、この「招集ご通知」をお持ちくださいますようお願い申し上げます。なお、開会間際は受付が混雑しますので、お早めにご来場くださいますようお願い申し上げます。
- 本招集ご通知に際して株主の皆様へ提供すべき書類のうち、連結計算書類の連結注記表及び計算書類の個別注記表に記載又は表示すべき事項に係る情報につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイトへの掲載をもって株主の皆様に対する書面の提供とみなさせていただきます。なお、監査役及び会計監査人が監査した連結計算書類及び計算書類は、株主総会招集ご通知添付書類に記載の各書類のほか、当社ウェブサイトに掲載している連結注記表及び個別注記表となります。
- 株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、修正後の事項をインターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

当社ウェブサイト <http://www.kyowa-kirin.co.jp/ir/>

## 議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、以下の3つの方法により行使いただくことができます。



### 株主総会にご出席いただく場合

同封の議決権行使書用紙をご持参いただき、株主総会当日に会場受付にご提出ください。  
(ご捺印は不要です)

▶ 株主総会開催日時：平成25年3月22日（金曜日）午前10時



### 郵送(書面)にて議決権を行使いただく場合

後記株主総会参考書類をご検討の上、同封の議決権行使書用紙に賛否をご記入の上、切手を貼らずにご投函ください。

▶ 行使期限：平成25年3月21日（木曜日）午後5時40分到着分まで



### 電磁的方法(インターネット)にて議決権を行使いただく場合

お手元のパソコンから議決権行使専用ウェブサイト <http://www.web54.net> にアクセスしていただき、同封の議決権行使書用紙に記載された議決権行使コード、パスワードをご利用になり、後記株主総会参考書類又は議決権行使専用ウェブサイトに掲載されている株主総会参考書類をご検討の上、画面の案内に従い、各議案の賛否をご入力ください。

なお、携帯電話専用サイトは開設しておりませんので、ご了承ください。

▶ 行使期限：平成25年3月21日（木曜日）午後5時40分入力分まで

インターネットによる議決権行使方法のご案内については次頁をご参照ください。

議決権の行使にあたっては、以下の事項を予めご承知おきください。

- インターネットにより複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いします。
- インターネットと書面の両方で議決権行使をされた場合は、後に到着したものを有効な議決権行使としてお取り扱いします。なお、インターネットと書面が同日に到着した場合は、インターネットを有効な議決権行使としてお取り扱いします。



## インターネットによる議決権行使について

インターネットによる議決権行使は、当社指定の議決権行使専用ウェブサイト <http://www.web54.net> をご利用いただくことによつてのみ可能です。

ご利用に際しては、次の事項をご覧ください、ご了承の上ご利用いただきますようお願い申し上げます。なお、携帯電話を操作端末として用いたインターネットでは、ご利用いただけませんので、ご了承ください。

### ① システムに係る条件

インターネットでの議決権行使を行うために、次のシステム環境をご確認ください。

- (1) 画面の解像度が横800×縦600ドット (SVGA) 以上であること。
- (2) 次のアプリケーションをインストールしていること。

① Microsoft® Internet Explorer Ver.5.01 SP 2 以降

② Adobe® Acrobat® Reader™ Ver.4.0 以降又は、Adobe® Reader® Ver.6.0以降（株主総会招集ご通知や株主総会参考書類等をインターネット上でご覧になる場合）

※ Microsoft® 及び Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。

※ Adobe® Acrobat® Reader™、Adobe® Reader® は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。

※ これらのソフトウェアは、いずれも各社のホームページより無償で配布されています。

- (3) インターネットの接続時に、ファイアウォールなどの設定によりインターネット上での通信が制限される場合がありますので、システム管理者の方にご確認ください。
- (4) なお、当ウェブサイトはポップアップ機能を使用しておりますので、ポップアップ機能を自動的に

遮断する機能（ポップアップブロック機能等）をご利用になっている場合は、解除（又は一時解除）の上、ご利用ください。

### ② パスワードのお取り扱い

- パスワードは、ご投票される方が株主様ご本人であることを確認する手段です。暗証番号と同様に大切に扱いください。
- パスワードのお電話などによるご照会には、お答えいたしかねます。
- パスワードは一定回数以上間違えるとロックされ使用できなくなります。パスワードの再発行を希望する場合は、画面の案内に従ってお手続きください。

### ③ パソコン等の操作方法に関するお問い合わせ先について

当ウェブサイトでの議決権行使に関するパソコン等の操作方法がご不明な場合は、下記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル  
〔電 話〕0120(652)031  
(受付時間) 9:00～21:00

その他のご登録住所・株式数のご照会などは、下記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行事務センター  
〔電 話〕0120(782)031  
(受付時間) 土日休日を除く 9:00～17:00

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社の利益配分に関する方針は、今後の事業展開への備えなど内部留保の充実を図るとともに、毎期の連結業績、配当性向及び純資産配当率等を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的に配当を行うことを基本としております。

この方針に基づき、第90期の期末配当につきましては、以下のとおり1株につき10円とさせていただきます。これにより、中間配当金10円を加えた年間配当金は、1株につき20円となります。

また、265億円を別途積立金に積立ていたしたいと存じます。

#### 1 期末配当に関する事項

- (1) 配当財産の種類……………金 銭
- (2) 配当財産の割当てに関する事項及びその総額…… 当社普通株式1株につき金10円 総額5,474,209,250円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日……………平成25年3月25日

#### 2 その他の剰余金の処分に関する事項

- (1) 増加する剰余金の項目及びその金額……………別 途 積 立 金 26,500,000,000円
- (2) 減少する剰余金の項目及びその金額……………繰越利益剰余金 26,500,000,000円



## 第2号議案 取締役8名選任の件

本定時株主総会の終結の時をもって、現取締役全員（8名）が任期満了となりますので、改めて取締役8名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

1

再  
任

はな い のぶお  
**花井 陳雄**  
(昭和28年4月30日生)

▶ 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

昭和51年 4 月 協和醸酵工業株式会社に入社  
平成15年 2 月 BioWa, Inc.社長  
平成18年 6 月 協和醸酵工業株式会社執行役員  
平成20年10月 協和発酵キリン株式会社執行役員開発本部長  
平成21年 4 月 当社常務執行役員開発本部長  
平成21年 6 月 当社取締役常務執行役員  
平成22年 3 月 当社取締役専務執行役員  
平成24年 3 月 当社代表取締役社長（現在に至る）

▶ 所有する当社株式の数……………14,000株

2

再任



ふるもと よしはる  
古元 良治  
(昭和25年1月30日生)

▶略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

昭和48年4月 麒麟麦酒株式会社に入社  
平成14年4月 同社酒類営業本部洋酒事業部長  
平成16年3月 同社執行役員経営企画部長  
平成19年3月 同社常務執行役員戦略企画部長  
平成19年7月 キリンホールディングス株式会社常務執行役員戦略企画部長  
平成20年3月 同社常務取締役 グループ財務戦略、グループ広報・IR戦略担当  
平成22年3月 同社代表取締役常務取締役 グループ財務戦略、グループ広報・IR戦略 担当  
平成24年3月 協和発酵キリン株式会社代表取締役副社長執行役員（現在に至る）

▶担当……………経営全般補佐、監査部、CSR推進部

▶所有する当社株式の数……………4,000株

3

再任



かわい ひろゆき  
河合 弘行  
(昭和29年1月17日生)

▶略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

昭和54年4月 麒麟麦酒株式会社に入社  
平成16年3月 同社医薬カンパニー開発本部長  
平成19年7月 キリンファーマ株式会社取締役執行役員開発本部長  
平成20年3月 同社代表取締役副社長兼執行役員製造本部長  
平成20年10月 協和発酵キリン株式会社常務執行役員生産本部長  
平成22年3月 当社取締役常務執行役員（現在に至る）

▶担当……………生産本部長、環境安全部、購買部

▶所有する当社株式の数……………6,000株

4

再任



たちばな かずよし  
立花 和義  
(昭和31年1月21日生)

▶略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

昭和53年4月 協和醸酵工業株式会社に入社  
平成17年4月 同社医薬戦略企画本部長兼医薬製品戦略部長  
平成17年6月 同社執行役員医薬戦略企画本部長兼医薬製品戦略部長  
平成20年10月 協和発酵キリン株式会社執行役員  
平成21年4月 当社常務執行役員  
平成21年6月 当社取締役常務執行役員（現在に至る）

▶担当……………経理部、情報システム部

▶所有する当社株式の数……………24,140株

5

再  
任

にし の ふみひろ  
**西野 文博**  
(昭和28年10月19日生)

- ▶ 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況
- 昭和57年11月 協和醸酵工業株式会社に入社
  - 平成16年4月 同社医薬営業企画部長
  - 平成18年10月 同社医薬営業本部医薬マーケティング部長
  - 平成19年4月 同社執行役員医薬営業本部医薬マーケティング部長
  - 平成20年10月 協和発酵キリン株式会社執行役員営業本部営業統括部長
  - 平成23年4月 当社常務執行役員営業本部長
  - 平成24年3月 当社取締役常務執行役員（現在に至る）

- ▶ 担当……………営業本部長、渉外部
- ▶ 所有する当社株式の数……………35,000株

6

再  
任

にしむら むつよし  
**西村 六善**  
(昭和15年8月22日生)

- ▶ 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況
- 昭和37年4月 外務省に入省
  - 平成4年7月 同大臣官房総務課長
  - 平成9年8月 同欧亜局長
  - 平成11年8月 特命全権大使経済協力開発機構日本政府代表部
  - 平成15年3月 特命全権大使メキシコ国駐在兼特命全権大使ベリーズ国駐在
  - 平成17年5月 特命全権大使地球環境問題担当
  - 平成19年9月 退官
  - 平成19年12月 内閣官房参与（地球温暖化問題担当）
  - 平成22年3月 協和発酵キリン株式会社取締役（現在に至る）

- ▶ 所有する当社株式の数……………0株

7

再  
任

きたやま もとあき  
**北山 元章**  
(昭和19年9月26日生)

- ▶ 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況
- 昭和44年4月 裁判官に任官
  - 平成18年10月 福岡高等裁判所長官
  - 平成20年4月 弁護士登録（現在に至る）
  - 平成20年4月 内閣官房知的財産戦略本部知財制度専門調査会委員
  - 平成20年4月 日本大学法科大学院教授（現在に至る）
  - 平成21年4月 国土交通省中央建設工事紛争審査会委員（現在に至る）
  - 平成23年3月 協和発酵キリン株式会社取締役（現在に至る）
  - 平成23年6月 最高裁判所医事関係訴訟委員会委員（現在に至る）

- ▶ 所有する当社株式の数……………0株



なかじま はじめ  
**中島 肇**  
(昭和28年10月3日生)

▶略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況

昭和52年 4 月 麒麟麦酒株式会社に入社  
平成16年 3 月 同社調達部長  
平成18年 3 月 同社国内酒類カンパニー生産本部名古屋工場長  
平成19年 3 月 同社執行役員国内酒類カンパニー生産本部名古屋工場長  
平成19年 7 月 キリンビール株式会社執行役員生産本部名古屋工場長  
平成20年 3 月 同社執行役員生産本部生産統轄部長  
平成21年 3 月 同社常務取締役生産本部長  
平成23年 3 月 キリンホールディングス株式会社常務取締役 グループ生産・物流戦略、グループR&D戦略、グループ品質・環境戦略担当  
平成24年 3 月 協和発酵キリン株式会社取締役（現在に至る）  
平成24年 3 月 キリンホールディングス株式会社代表取締役常務取締役 取締役会議長、グループ生産・物流戦略、グループR&D戦略、グループ品質・環境戦略 担当（現在に至る）

▶所有する当社株式の数………0株

(注) 1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

2. キリンホールディングス株式会社は、当社の発行済株式総数の50.10%を保有する親会社であり、当社の特定関係事業者ではありません。

古元良治氏は、過去5年間に同社の業務執行者となつたことがあります。また、中島肇氏は、現在、同社の業務執行者であり、同社の代表権を有する常務取締役です。

3. 取締役候補者のうち、西村六善、北山元章、中島肇の3氏は、社外取締役候補者であります。

4. 西村六善氏を社外取締役候補者とした理由は、長年にわたり外交官として培ってきた豊富な国際経験と知識等を当社の経営に活かしていただけるものと判断したものであります。北山元章氏を社外取締役候補者とした理由は、法曹界における豊富な経験と知識等を当社の経営に活かしていただけるものと判断したものであります。また、中島肇氏を社外取締役候補者とした理由は、キリングループ内における豊富な経験と知識を当社の経営に活かしていただけるものと判断したものであります。

5. 西村六善氏及び北山元章氏は、直接会社経営に関与された経験はありませんが、両氏のご経歴等から、社外取締役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断いたします。

6. 西村六善氏、北山元章氏及び中島肇氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本定時株主総会の終結の時をもって、西村六善氏は3年間、北山元章氏は2年間、中島肇氏は1年間となります。

7. 当社は西村六善氏、北山元章氏及び中島肇氏の間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しており、その契約内容の概要は、5百万円又は同法第425条第1項が定める最低責任限度額のいずれか高い額を限度とする責任限定契約であります。本定時株主総会において、本議案が原案どおり承認された場合には、3氏との間で当該責任限定契約を継続する予定であります。

8. 当社は、西村六善氏及び北山元章氏を東京証券取引所規則に定める独立役員として同取引所に届け出ており、原案どおり選任された場合、引き続き独立役員として届け出る予定です。

## 第3号議案 監査役2名選任の件

本定時株主総会の終結の時をもって、現監査役永井浩明氏が任期満了となります。つきましては、監査体制の充実を図るために、1名を増員し、監査役2名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

1

再任



ながい ひろあき  
**永井 浩明**  
(昭和30年4月15日生)

- ▶ 略歴、当社における地位及び重要な兼職の状況  
昭和53年4月 第一生命保険相互会社（現 第一生命保険株式会社）に入社  
平成10年12月 同社投信推進室長  
平成13年4月 同社前橋支社長  
平成15年4月 同社大阪業務推進部長  
平成19年4月 同社検査部長  
平成21年4月 同社関連事業部部長  
平成21年6月 協和発酵キリン株式会社常勤監査役（現在に至る）

▶ 所有する当社株式の数………3,000株

2

新任



すずしろう かずよし  
**鈴庄 一喜**  
(昭和28年3月29日生)

- ▶ 略歴、当社における地位及び重要な兼職の状況  
昭和52年4月 麒麟麦酒株式会社に入社  
平成15年3月 同社医薬カンパニー総務部長  
平成19年7月 キリンビール株式会社人事総務部長  
平成20年3月 同社執行役員人事総務部長  
平成22年3月 同社常務執行役員人事総務部長  
平成23年3月 キリンホールディングス株式会社常勤監査役（現在に至る）

▶ 所有する当社株式の数………0株

- 
- (注) 1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. キリンビール株式会社は、当社の発行済株式総数の50.10%を保有する親会社であるキリンホールディングス株式会社の子会社であり、当社の特定関係事業者であります。
- 鈴庄一喜氏は、過去5年間にキリンビール株式会社の業務執行者となったことがあります。
3. 永井浩明氏及び鈴庄一喜氏は、社外監査役候補者であります。
4. 永井浩明氏は、直接会社経営に関与された経験はありませんが、金融機関における長年の経験と幅広い見識を有しており、社外監査役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断し、選任をお願いするものであります。鈴庄一喜氏は、キリンホールディングス株式会社常勤監査役としての経験と幅広い見識を有しており、社外監査役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断し、選任をお願いするものであります。
5. 永井浩明氏は、現在、当社の社外監査役であります。社外監査役としての在任期間は、本定時株主総会の終結の時をもって3年9ヶ月間となります。
6. 当社は永井浩明氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しており、その契約内容の概要は、5百万円又は同法第425条第1項が定める最低責任限度額のいずれか高い額を限度とする責任限定契約であります。本定時株主総会において、本議案が原案どおり承認された場合には、同氏との間で当該責任限定契約を継続するとともに、新たに鈴庄一喜氏との間で同内容の契約を締結する予定であります。
7. 当社は、永井浩明氏が原案どおり選任された場合、東京証券取引所規則に定める独立役員として同取引所に届け出る予定であります。

**第4号議案****株式報酬型ストックオプションとして発行する新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任する件**

当社の取締役（社外取締役を除きます。以下本議案において同様とします。）及び執行役員に対し、株式報酬型ストックオプションとして発行する新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任することにつきご承認をお願いするものであります。なお、本議案にいう株式報酬型ストックオプションの対象となる取締役の員数は、第2号議案を原案どおりご承認いただきますと、5名（社外取締役を除きます。）となります。

**1 特に有利な条件により新株予約権を引き受ける者の募集をすることを必要とする理由**

当社の取締役及び執行役員の報酬について、当社の株価との連動性を高め、株価変動による影響を株主の皆様と共有する立場に置くことによって、当社取締役及び執行役員の当社の株価や会社業績への関心度を高め、企業価値向上への意欲や士気を一層高めることを目的として、退職慰労金制度に替えて、新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式1株当たりの払込金額を1円とする株式報酬型ストックオプションとして、新株予約権を無償で発行するものであります。

**2 本定時株主総会において決定する事項に基づいて募集事項の決定ができる新株予約権の内容及び数の上限****(1) その委任に基づいて募集事項の決定をすることができる新株予約権の数の上限**

下記(3)に定める内容の新株予約権129個を上限とします。（当社取締役に割り当てる新株予約権については、平成18年6月28日開催の第83回定時株主総会においてご承認いただきました上限枠の範囲内であり、本定時株主総会後一年以内での割当てとなります。）

なお、新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式の総数は、当社普通株式129,000株を上限とし、下記(3)①により付与株式数が調整された場合は、調整後付与株式数に上記新株予約権の上限数を乗じた数を上限とします。



(2) その委任に基づいて募集事項の決定をすることができる新株予約権につき、金銭の払込みを要しないこととします。

(3) その委任に基づいて募集事項の決定をすることができる新株予約権の内容

① 新株予約権の目的である株式の種類及び数

新株予約権の目的である株式の種類は普通株式とし、各新株予約権の目的である株式の数（以下「付与株式数」といいます。）は1,000株とします。

ただし、本定時株主総会における決議の日（以下「決議日」といいます。）後、当社が当社普通株式につき、株式分割（当社普通株式の株式無償割当てを含みます。以下、株式分割の記載につき同様とします。）又は株式併合を行う場合には、付与株式数を次の算式により調整し、調整の結果生じる1株未満の端数は、これを切り捨てるものとします。

$$\text{調整後付与株式数} = \text{調整前付与株式数} \times \text{分割・併合の比率}$$

また、上記のほか、決議日後、付与株式数の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときは、合理的な範囲で付与株式数を調整します。

② 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

各新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、新株予約権を行使することにより交付を受けることのできる株式1株当たりの払込金額を1円とし、これに付与株式数を乗じた金額とします。

③ 新株予約権を行使することができる期間

新株予約権を割り当てる日の翌日から平成45年3月22日までとします。

④ 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する事項

(ア) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果生じる1円未満の端数は、これを切り上げるものとします。

(イ) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記(ア)記載の資本金等増加限度額から上記(ア)に定める増加する資本金の額を減じた額とします。

⑤ 譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による新株予約権の取得については、当社取締役会の決議による承認を要するものとします。

- ⑥ 新株予約権を行使した新株予約権者に交付する株式の数に1株に満たない端数がある場合には、これを切り捨てるものとします。
- ⑦ その他の新株予約権の行使の条件
  - (ア) 新株予約権者は、上記③の期間内において、当社の取締役がその地位を喪失した日、又は執行役員がその地位を喪失した日（従業員としての地位が継続する場合は除きます。）若しくは執行役員が当社取締役又は監査役に就任した日の翌日から10日を経過する日までの期間に限り、新株予約権を行使することができるものとします。
  - (イ) 新株予約権1個当たりの一部行使はできないものとします。

以 上

# 1 企業集団の現況に関する事項

## (1) 事業の経過及びその成果

### 連結業績の概要

売上高は**3,331**億円（前期比3.1%減）

営業利益は**529**億円（同13.5%増）となりました。

売上高は前年3月末をもって化学品事業（前期の売上高335億円、営業利益21億円）が連結除外となった影響もあり減収となりましたが、営業利益は医薬事業における主力品の好調な推移等により増益となりました。

経常利益は**490**億円（前期比4.8%増）

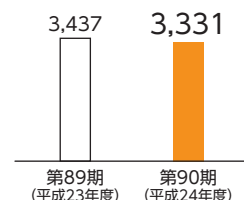
当期純利益は**241**億円（同5.5%減）となりました。

経常利益は増益となりましたが、当期純利益は関係会社株式売却益を計上した前期に比べ減益となりました。

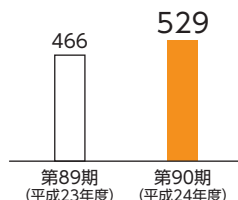
医薬事業を取り巻く環境は、国内外共に新薬創出の成功確率の低下や承認審査の厳格化、医療費抑制策の進展とジェネリック医薬品のシェア拡大など引き続き厳しい状況が続いています。このような環境において、当社グループは、欧米やアジアにおける新薬開発を進める一方、国内を中心に主力製品の販売拡大及び新製品の早期市場浸透を図りました。また、前年買収した英国ProStrakan Group plc（以下「プロストラカン社」といいます。）との一層の連携強化、富士フィルム株式会社との合併会社設立によるバイオシミラー事業への参入など、今後のグローバル成長に向けた事業基盤作りを着実に進めました。

バイオケミカル事業では、事業全体に占める海外活動が比較的大きいため、円高の影響を強く受けておりますが、需要が旺盛な医薬・医療用途を中心とするアミノ酸・核酸関連物質等の高付加価値品の拡販と価格見直しを図りました。ヘルスケア製品では、「オルニチン」など独自ブランド素材を中心とする通信販売事業の強化に取り組みしました。

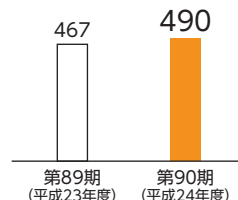
### 売上高 (単位：億円)



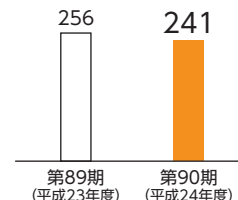
### 営業利益 (単位：億円)



### 経常利益 (単位：億円)



### 当期純利益 (単位：億円)

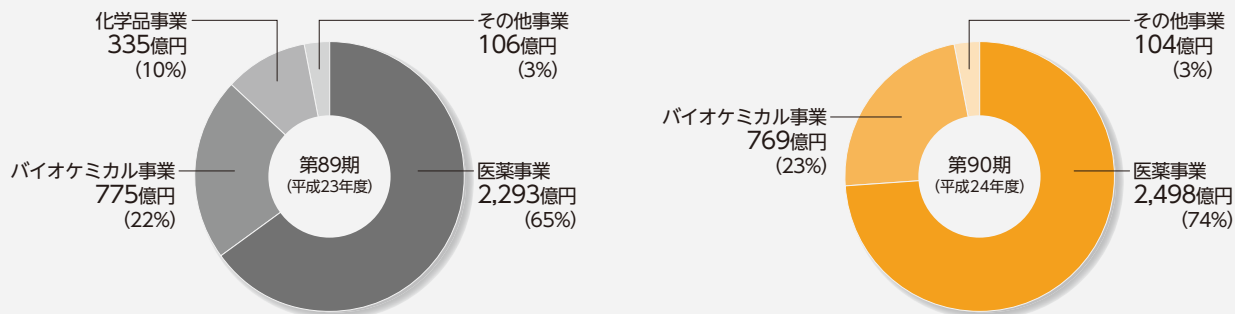


## (2) 財産及び損益の状況

|            |         | 第87期<br>(平成21年4月1日から<br>平成21年12月31日まで) | 第88期<br>(平成22年1月1日から<br>平成22年12月31日まで) | 第89期<br>(平成23年1月1日から<br>平成23年12月31日まで) | 第90期<br>(平成24年1月1日から<br>平成24年12月31日まで) |
|------------|---------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 売上高        | (単位：億円) | 3,091                                  | 4,137                                  | 3,437                                  | 3,331                                  |
| 経常利益       | (単位：億円) | 294                                    | 465                                    | 467                                    | 490                                    |
| 当期純利益      | (単位：億円) | 87                                     | 221                                    | 256                                    | 241                                    |
| 1株当たり当期純利益 | (単位：円)  | 15.41                                  | 38.96                                  | 45.16                                  | 44.12                                  |
| 総資産        | (単位：億円) | 6,952                                  | 6,958                                  | 6,588                                  | 6,793                                  |
| 純資産        | (単位：億円) | 5,403                                  | 5,449                                  | 5,400                                  | 5,558                                  |

(注) 第87期は、決算期変更により平成21年4月1日から平成21年12月31日までの9か月間となっております。

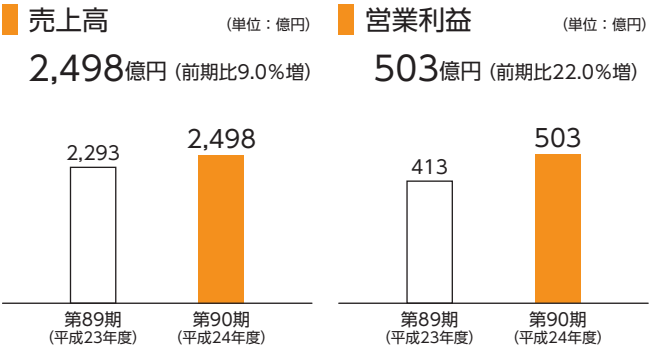
### 事業区分別売上高及び構成比



- (注) 1. 各事業区分の売上高には、事業区分間の内部売上高が含まれております。  
 2. 協和発酵ケミカル株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、平成23年3月31日をもって「化学品事業」の事業区分（セグメント）を廃止しております。

(3) 事業セグメント別の概況

医薬事業



主要な事業内容 (平成24年12月31日現在)

| 事業区分 | 種別         | 主な品名                                                              |
|------|------------|-------------------------------------------------------------------|
| 医薬事業 | 腎領域        | ネスプ、エスポー、レグパラ、ロカルトロール                                             |
|      | 免疫・アレルギー領域 | アレロック、パタノール、セルテクト                                                 |
|      | がん領域       | グラン、フェントス、ポテリジオ、5-FU、ナベルビン、Sancuso、Abstral                        |
|      | 循環器系領域     | コニール、コバシル、イノバン                                                    |
|      | 中枢神経系領域    | デパケン、ペルマックス                                                       |
|      | 消化器系領域     | ナウゼリン、アサコール                                                       |
|      | その他領域      | ロミプレート、Tosttran、Xomolix、Rectogesic、Adcal-D3                       |
|      | 製剤原料       | オロパタジン塩酸塩                                                         |
|      | 臨床検査試薬     | デタミナーHbA1c、メタボリードHDL-C、メタボリードLDL-C、ウロピースS、CL-PiVKAⅡ、エクステル「ヘモ・オート」 |

## ① 業績

医薬事業の売上高は **2,498** 億円（前期比9.0%増）となり  
営業利益は **503** 億円（同22.0%増）となりました。

- 国内の医療用医薬品は、主力品が順調に推移しましたが、薬価基準の引下げ等の影響を受けました。
  - 主力製品の腎性貧血治療剤「ネスプ」※1、抗アレルギー剤「アレロック」は好調に推移しました。一方、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」は、後発医薬品の影響等により、売上高が前期を下回りました。
  - 二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」※2、経皮吸収型持続性がん性疼痛治療剤「フェントス」※3、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤「ロミプレート」※4等が伸長しました。
  - 5月には成人T細胞白血病リンパ腫治療剤「ポテリジオ」※5、7月にはパーキンソン病治療剤「アポカイン」の販売を開始し、順調に推移しました。
- 医薬品の輸出及び技術収入は、輸出が堅調に推移したことに加えて、協和キリン富士フィルムバイオロジクス株式会社からのバイオシミラー開発に係る技術収入などを計上したため、前期の売上高を上回りました。
- 臨床検査試薬は、免疫系試薬や輸出が堅調に推移し、前期の売上高を上回りました。
- 前年6月末から連結したプロストラカン社は、概ね計画並みに堅調に推移しており、売上高は162億円、営業損失（のれん等償却後）は25億円となりました。

## 注

- ※1 「ネスプ」は赤血球を増やして腎性貧血を改善する薬剤です。
- ※2 「レグパラ」は血液透析による合併症のひとつである副甲状腺機能亢進症を改善する新しいメカニズムの薬剤です。
- ※3 「フェントス」は1日1回の貼付で、がんによる痛みを和らげる薬剤です。
- ※4 「ロミプレート」は原因不明で血小板が減少する紫斑病に対して血小板数を増加又は維持させる薬剤です。
- ※5 「ポテリジオ」は血液がんである成人T細胞白血病リンパ腫を治療する抗体医薬品です。この抗体医薬品は当社独自の、がん細胞などの標的細胞を殺傷する活性を飛躍的に向上させるポテリジェント技術を応用しています。

## ② 研究開発

### ■ がん領域

(国内)

- 再発又は難治性のCCR4陽性成人T細胞白血病リンパ腫治療剤「ポテリジオ」の承認を3月に取得し、5月に発売しました。また、協和メデックス株式会社では、「ポテリジオ」の治療対象患者の判定を補助する体外診断用医薬品「ポテリジオテスト」の承認を3月に取得し、5月に発売しました。
- がん性疼痛治療剤KW-2246（海外製品名「Abstral」）の承認申請を11月に行いました。
- 日本、韓国及び台湾において国際共同治験として実施していた非小細胞肺癌を対象としたARQ 197の第Ⅲ相臨床試験は、間質性肺疾患の副作用の頻度を踏まえて開催された安全性評価委員会からの勧告を受け、10月に本試験の中止を決定しました。

(海外)

- 韓国において好中球減少症治療剤「Neulasta」の承認を5月に取得しました。
- 台湾において化学療法に伴う悪心・嘔吐治療剤「Sancuso」（一般名：Granisetron）の承認を10月に取得しました。
- 米国において再発又は難治性皮膚T細胞リンパ腫を対象としたKW-0761（国内製品名「ポテリジオ」）の第Ⅲ相臨床試験を12月に開始しました。
- 欧米において再発又は難治性成人T細胞白血病リンパ腫を対象としたKW-0761の第Ⅱ相臨床試験を8月に開始しました。
- プロストラカン社では、欧州において化学療法に伴う悪心・嘔吐治療剤「Sancuso」の承認を4月に取得しました。

### ■ 腎領域

(国内)

- 腎性貧血治療剤「ネスプ」の小児適応追加の承認申請を9月に行いました。
- 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象としたRTA 402の第Ⅱ相臨床試験を2月に開始しましたが、米国リアタ・ファーマシューティカルズ社による海外第Ⅲ相臨床試験が安全性上の懸念から中止となったことを受け、10月に本試験の中断を決定しました。

(海外)

- 事業環境等の変化を踏まえたポートフォリオの見直しにより、インドにおいて実施していた透析患者における腎性貧血を対象としたKRN321の第Ⅲ相臨床試験について、9月に中止を決定しました。



## ■ 免疫・アレルギー領域

(国内)

- 乾癬を対象としたKHK4827の第Ⅱ相臨床試験を12月に開始しました。

## ■ 中枢神経系領域

(国内)

- パーキンソン病治療剤「アポカイン」の承認を3月に取得し、7月に発売しました。
- パーキンソン病治療剤KW-6002の承認申請を3月に行いました。
- 抗てんかん剤「トピナ」の小児適応追加と、新剤形（細粒剤）追加の2点について、12月に承認申請を行いました。
- 带状疱疹後神経痛患者を対象としたKHK6188の第Ⅱ相臨床試験を5月に開始しました。

## ■ その他領域

(海外)

- 台湾において慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤「Nplate」（国内製品名「ロミプレート」）の承認を10月に取得しました。

(ご参考) 開発パイプライン

| 領域 | 開発番号<br>一般名        | 対象疾患                           | 開発地域   | 開発段階  |       |          |    |    | 備考                                  |
|----|--------------------|--------------------------------|--------|-------|-------|----------|----|----|-------------------------------------|
|    |                    |                                |        | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3    | 申請 | 承認 |                                     |
| がん | YKW-0761           | 末梢性T/NK細胞リンパ腫                  | 日本     |       |       |          |    |    | ポテリジェント抗体                           |
|    |                    | 成人T細胞白血病リンパ腫併用療法（末治療対象）        | 日本     |       |       |          |    |    |                                     |
|    |                    | 皮膚T細胞リンパ腫                      | 米国     |       |       |          |    |    |                                     |
|    |                    | 末梢性T細胞リンパ腫                     | 欧州     |       |       |          |    |    |                                     |
|    |                    | 成人T細胞白血病リンパ腫                   | 米国、欧州  |       |       |          |    |    |                                     |
|    | *Granisetron       | 催嘔吐性化学療法剤による悪心および嘔吐            | アジア※1  |       |       |          |    |    | アジア※1：シンガポール・マレーシア・香港               |
|    | *KW-2246           | がん性疼痛                          | 日本     |       |       |          |    |    |                                     |
|    | *KRN125            | がん化学療法による発熱性好中球減少症             | 日本     |       |       |          |    |    |                                     |
|    | *ARQ 197           | 肺がん（EGF受容体変異型）                 | 日本     |       |       |          |    |    |                                     |
|    |                    | 胃がん                            | 日韓     |       |       |          |    |    |                                     |
|    |                    | 肝がん                            | 日本     |       |       |          |    |    |                                     |
|    |                    | 肺がん（EGF受容体野生型）                 | 日韓台    |       |       |          |    |    | 試験中止※2                              |
|    | *KRN1493           | 副甲状腺癌及び難治性原発性副甲状腺機能亢進症に伴う高Ca血症 | 日本     |       |       |          |    |    |                                     |
|    | *KW-2478           | 多発性骨髄腫                         | 英米比    |       |       | フェーズ1/2  |    |    |                                     |
|    | *KRN321            | 骨髄異形成症候群に伴う貧血                  | 日韓     |       |       |          |    |    |                                     |
|    | *KW-2450           | 悪性腫瘍                           | 米国     |       |       | フェーズ1/2  |    |    |                                     |
|    | YBIW-8962          | 悪性腫瘍                           | 米国     |       |       | フェーズ1/2a |    |    | ポテリジェント抗体                           |
|    | *KRN951            | 悪性腫瘍                           | 日本     |       |       |          |    |    | 米国ではAVEO社がAV-951として申請中              |
|    | YKHK2866           | 悪性腫瘍                           | 米国     |       |       |          |    |    | ポテリジェント抗体                           |
|    | *LY2523355         | 悪性腫瘍                           | 日本     |       |       |          |    |    | 日本を除く地域ではEli Lilly社がLY2523355として開発中 |
|    | YCEP-37250/KHK2804 | 悪性腫瘍                           | 米国     |       |       |          |    |    | Cephalon社と共同開発ポテリジェント抗体             |
|    | YKHK2898           | 悪性腫瘍                           | シンガポール |       |       |          |    |    | ポテリジェント抗体KMマウスを使用                   |

※2 間質性肺疾患の副作用が認められたことにより、安全性評価委員会からの勧告を受け、本試験を中止

用語解説

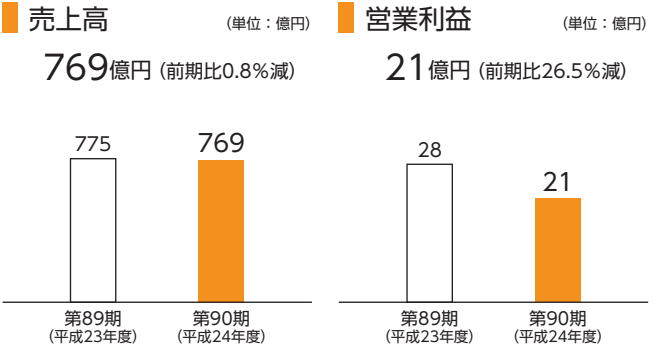
|       |                                     |       |                                         |       |                                             |
|-------|-------------------------------------|-------|-----------------------------------------|-------|---------------------------------------------|
| フェーズ1 | 同意を得た少数の健康人志願者を対象に、安全性及び体内動態の確認を行う。 | フェーズ2 | 同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投与方法などを確認する。 | フェーズ3 | 同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性と安全性を確認する。 |
|-------|-------------------------------------|-------|-----------------------------------------|-------|---------------------------------------------|

| 領域       | 開発番号<br>一般名                  | 対象疾患                                | 開発地域       | 開発段階  |       |         |    |    | 備考                                                                                                           |
|----------|------------------------------|-------------------------------------|------------|-------|-------|---------|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          |                              |                                     |            | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3   | 申請 | 承認 |                                                                                                              |
| 腎臓       | ※Cinacalcet<br>Hydrochloride | 二次性副甲状腺機能亢進症                        | アジア<br>※ 3 |       |       |         |    |    | アジア※ 3：フィリピン・マレーシア・タイ・中国                                                                                     |
|          | ※KRN321                      | 小児腎性貧血                              | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          |                              | 腎性貧血（透析施行中）                         | 中国         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | ※RTA 402                     | 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病                     | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
| 免疫・アレルギー | ※KHK7580                     | 二次性副甲状腺機能亢進症                        | 日本         |       |       |         |    |    | ポテリジェント抗体<br>日本およびアジアを除く地域ではMedImmune社がMEDI-563として開発中<br>ポテリジェント抗体<br>アステラス製薬と共同開発<br>KMマウスを使用<br>ゼリア新薬と共同開発 |
|          | YKW-0761                     | 気管支喘息                               | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | YKHK4563                     | 気管支喘息                               | 日韓         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | YASKP1240                    | 臓器移植時の拒絶反応                          | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          |                              |                                     | 米国         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | ※Z-206                       | クローン病                               | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | YKHK4827                     | 乾癬                                  | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | YKHK4083                     | 自己免疫疾患                              | カナダ        |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
| 中枢神経     | ※KHK4577                     | 炎症性疾患                               | 日本         |       |       |         |    |    | ポテリジェント抗体<br>KMマウスを使用                                                                                        |
|          | ※KW-6002                     | パーキンソン病                             | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          |                              |                                     | 米国         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | ※KW-6485                     | 小児てんかん                              | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | ※KHK6188                     | 神経障害性疼痛                             | 日本         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
| その他      | ※KW-3357                     | 汎発性血管内凝固症候群、先天性アンチトロンビン欠乏に基づく血栓形成傾向 | 日本         |       |       |         |    |    | KMマウスを使用                                                                                                     |
|          |                              |                                     | 欧州         |       |       |         |    |    |                                                                                                              |
|          | YKRN23                       | X染色体遺伝性低リン血症性くる病 (XLH)              | 米加         |       |       | フェーズ1/2 |    |    |                                                                                                              |

Y：抗体 ※：たんぱく製剤 ※※：低分子化合物

(平成25年1月24日現在)

バイオケミカル事業



主要な事業内容 (平成24年12月31日現在)

| 事業区分      | 種別       | 主な品名                                              |
|-----------|----------|---------------------------------------------------|
| バイオケミカル事業 | 医薬・工業用原料 | アルギニン、バリン、オルニチン類、グルタチオン、シチコリン、ATP、プラバスタチン、トラネキサム酸 |
|           | ヘルスケア製品  | 協和発酵バイオの健康食品シリーズ、オルニチン、シトルリン、アルギニン                |
|           | その他      | ジベレリン                                             |

## ① 業績

バイオケミカル事業の売上高は **769** 億円（前期比0.8%減）となり  
営業利益は **21** 億円（同26.5%減）となりました。

### 国内

- 医薬・医療領域の売上高は前期を上回りました。
  - 医薬・医療領域では、医薬用アミノ酸やA T P等の核酸関連物質、その他の医薬品原薬等が堅調に推移しました。
  - 前年製造設備が完成したトラネキサム酸※<sup>1</sup>の販売数量も大きく増加しました。
- ヘルスケア領域の売上高は前期並みとなりました。
  - ヘルスケア領域では、「オルニチン」をはじめとする通信販売事業が順調に伸長しました。
  - オルニチンは、“キリンの健康プロジェクト”「キリン プラスーアイ」の素材として飲料やヨーグルト、お粥にも配合され、通信販売の宣伝との相乗効果により認知度が大きく向上すると同時に、原料としての売上高も前期を上回りました。
  - 一方で、飲料・食品用原料の他の素材の販売は低調に推移しました。

### 海外

- 海外事業の売上高は前期並みとなりました。
  - 米国ではサプリメント向けのアミノ酸が堅調に推移しました。
  - 欧州・アジアにおいても輸液用アミノ酸や医薬品原薬であるシチコリンなどのアミノ酸・核酸関連物質が、引き続き順調に推移しました。
  - 各工場では高稼働を継続してこの旺盛な需要に対応し、また販売価格の見直しも実施しました。
  - しかしながら、円高の影響を強く受け、海外事業全体での売上高は前期並みとなりました。

注

※<sup>1</sup> トラネキサム酸…合成法で作られるアミノ酸の一種で、止血剤、抗炎症剤として国内外で幅広く使用されています。第一ファインケミカル株式会社が製造しています。

## ② 研究開発

- 主力製品である各種アミノ酸・核酸関連物質などの発酵生産プロセスの効率化研究に引き続き注力する一方、高い技術力を活かした新素材の製法開発や市場開拓にも積極的に取り組んでいます。
- 発酵技術と有機合成技術の組み合わせにより、高付加価値の医薬品原薬・中間体についての新製法の開発を行っています。
- ヘルスケア領域では、国内外の大学・研究機関との共同研究を通して得られた機能性データに基づき、健康維持に貢献できる新製品提案や用途開発に積極的に取り組んでいます。

## その他事業（物流業等）

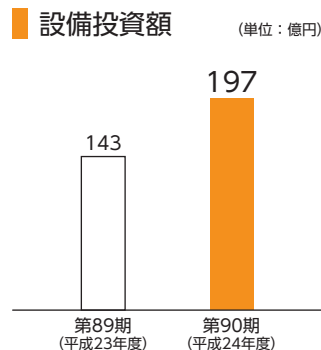
物流業等を主とするその他事業の売上高は、104億円（前期比2.2%減）となり、営業利益は3億円（同5.9%減）となりました。

## (4) 設備投資の状況

当期において実施しました当社グループの設備投資の総額は197億円であります。当期中に完了した主要な設備投資は、当社宇部工場（医薬事業）における医薬品製剤棟新設であり、当期末現在において計画中の主要設備は、当社高崎工場（医薬事業）におけるバイオ医薬原薬製造設備新設及び注射剤棟新設、第一ファインケミカル株式会社（バイオケミカル事業）における低分子医薬品原薬製造設備新設、並びにThai Kyowa Biotechnologies Co., Ltd.（バイオケミカル事業）におけるアミノ酸製造設備新設であります。



宇部工場新製剤棟



## (5) 資金調達の状況

当期における当社グループの資金調達について、特記すべき事項はありません。



## (6) 対処すべき課題

当社グループは、「ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。」というグループ経営理念を掲げ、多様なニーズに対する新たな価値の提供を通じて、グローバルな成長を図ってまいります。

2010－2012年中期経営計画では、国内腎領域でNo.1の地位を確固たるものとした医薬事業が、3年連続で最高益を更新するなど順調に推移しました。また、協和発酵ケミカル株式会社（化学品事業）の全株式譲渡、プロストラカン社の買収、富士フイルム株式会社との合併会社設立によるバイオシミラー事業への参入など、事業ポートフォリオの選択と集中を積極的に推進しました。また、医薬事業の収益力強化を図るため、生産拠点の再編を進めるなど、経営資源を効率的に医薬事業に集中させ、今後のグローバル成長のための事業基盤作りを着実に進めました。

この度発表した2013－2015年中期経営計画では、「グローバル・スペシャリティファーマへの挑戦」をテーマに掲げ、「カテゴリー戦略による国内競争力の更なる強化」、「グローバル・スペシャリティファーマを目指した欧米/アジアでの事業基盤拡充」、「バイオケミカル事業の収益基盤の強化」の3つを重要ポイントとして謳っております。

医薬品産業を取り巻く環境は、国内外共に新薬創出の成功確率の低下や承認審査の厳格化、医療費抑制策の進展とジェネリック医薬品のシェア拡大など、より不透明感を増しつつあります。企業間の競争は、情報力・ネットワーク力・多様な機能の連携力など総合力が試される状況へと大きく変化し、特に医療現場からは、提供情報に関してより高い専門性が求められています。

### 2013－2015年中期経営計画

#### グローバル・スペシャリティファーマへの挑戦

カテゴリー戦略による国内競争力の更なる強化

グローバル・スペシャリティファーマを目指した欧米/アジアでの事業基盤拡充

バイオケミカル事業の収益基盤の強化

このような環境において、当社は競争優位性の加速、持続的な成長を目指して「カテゴリー戦略による国内競争力の更なる強化」を進めます。既に強いプレゼンスを有している、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経の4つのカテゴリーを中核に、真のメジャープレイヤーへの飛躍へ向け、研究開発から製造・販売まで一貫した各機能の連携を強化します。豊富なパイプラインからの新薬の着実な上市に加え、高い専門性を活かした効果的な営業体制を構築し、売上の最大化、医療現場での信頼獲得を目指します。

研究開発においては、アンメット医療ニーズに応える新薬を上市する創薬力に磨きをかけます。抗体医薬品の国内外における臨床開発の進展や抗体技術の提携促進による価値最大化と共に、核酸医薬などの新たな創薬アプローチにも挑戦します。また、臨床開発の成功確率向上を目指し、グローバルな研究ネットワークを活用したトランスレーショナルリサーチの推進に加え、社外の情報・知見を積極的に活用するオープンイノベーションを重視した、早期段階からの研究提携を積極的に推進します。

海外では、「グローバル・スペシャリティファーマを目指した欧米/アジアでの事業基盤拡充」のため、2011年に買収し当社グループの重要な構成会社となったプロストラカン社の活用を軸に、地域別/国別の事業戦略に従いグローバル展開を進めます。

米国では、当社初の抗体医薬品「ポテリジオ」の上市へ向けた活動をグローバル・スペシャリティファーマへの飛躍の重要な機会と捉え、巨大な米国市場における今後の自律的な成長へ向け、自社グローバル医薬品の開発

・販売体制の構築を進めます。

また、プロストラカン社の後期開発品や上市品を積極的に導入するビジネスモデルの推進により、欧米の主要各国において製品拡充、市場プレゼンス拡大を進めます。

アジアでは、中国における将来の安定的な成長へ向けた事業基盤の再構築を進めることを最重要の課題と位置付けます。また、韓国、台湾、シンガポール、タイなど経済成長の続く各国・地域の現地法人がそれぞれの国情・情勢に応じた事業戦略を進めます。

この他、バイオシミラー事業は、当社の強みである世界トップレベルのバイオ医薬品の生産技術を活用すべく、富士フィルム株式会社との合併により設立した協和キリン富士フィルムバイオロジクス株式会社にて、世界市場での展開を睨んだバイオシミラー医薬品の早期上市を目指し、精力的に開発活動を進めます。同社は、新しい生産技術により、高信頼性・高品質でコスト競争力にも優れたバイオシミラー医薬品の提供を目指します。今後世界的に大きな成長が見込まれるバイオシミラー市場へチャレンジすると共に、医療費増加の問題など医療経済的な側面からもその解決の一助になればと考えています。

また、診断薬事業は、各種疾患の治療に必要な先進の診断薬/診断機器を協和メデックス株式会社を通じて提供し、国内での確固たる地位の確立と共に、中国市場での基盤作りを進めます。当社研究開発部門との連携により、体外診断用医薬品（臨床検査用試薬）や分析機器、コンパニオン診断薬（治療対象患者の判定を補助する体外診断用医薬品）の開発上市などを通じて、医薬ビ

ジネスとの相乗効果や付加価値向上を目指します。

バイオケミカル事業では、発酵と合成の両技術を兼ね備えたバイオテクノロジー企業として、医薬・医療・ヘルスケア領域において持続的な成長を目指すと共に「収益基盤の強化」を進めます。為替の影響を受けにくい事業構造の構築、世界的なアミノ酸類の需要増に対する生産能力の増強を目下取り組むべき課題と認識しています。山口事業所や第一ファインケミカル株式会社、米国のバイオキョウワ社をはじめとしたグループ国内外の生産拠点の再編・整備を通じてコスト競争力をさらに高めると共に、タイにおける新生産拠点の設立などグローバルな事業基盤を一層整備し、世界的に旺盛な需要に対しても積極的に対応してまいります。

国内ヘルスケアでは、お客様のニーズに的確にお応えするために、2013年1月より原料販売事業、通信販売事業を行っていた株式会社協和ウェルネスを発展的に協和発酵バイオ株式会社に吸収合併しました。「オルニチン」に代表される通信販売事業については、今後とも効果的な広告宣伝活動を通じ、製品認知度の向上を図りつつ、安心してお使いいただける独自の素材を提供してまいります。

当社グループは、新薬事業を中核に、バイオシミラー、診断薬、バイオケミカルの各事業を総合したユニークな医薬事業モデルを追求し、「グローバル・スペシャリティファーマへの挑戦」を進めてまいります。

## (7) 主要な営業所及び工場（平成24年12月31日現在）

### ① 当社

|      |                                                                                                                      |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本社   | 東京都千代田区大手町一丁目6番1号                                                                                                    |
| 営業拠点 | 札幌支店、東北支店（仙台市）、東京支店、千葉埼玉支店（東京都）、北関東支店（東京都）、甲信越支店（東京都）、横浜支店（東京都）、名古屋支店、大阪支店、京滋北陸支店（大阪市）、中国支店（広島市）、四国支店（松山市）、九州支店（福岡市） |
| 生産拠点 | 高崎工場、富士工場（静岡県駿東郡長泉町）、四日市工場、堺工場、宇部工場                                                                                  |
| 研究拠点 | バイオ生産技術研究所（高崎市）、東京リサーチパーク、富士リサーチパーク（静岡県駿東郡長泉町）、製剤研究所（静岡県駿東郡長泉町）、合成技術研究所（堺市）                                          |

（注）拠点名等に所在地を示す都市名が付される場合には、所在地を記載しておりません。

## ② 主要な子会社

| 事業      | 会社名                                  | 主要拠点及び所在地                                                                                                                                 |
|---------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 医薬      | 協和メデックス株式会社                          | 本社：東京都中央区                                                                                                                                 |
|         | 協和発酵麒麟（中国）製薬有限公司                     | 中国                                                                                                                                        |
|         | Kyowa Hakko Kirin America, Inc.      | アメリカ                                                                                                                                      |
|         | BioWa, Inc.                          | アメリカ                                                                                                                                      |
|         | Kyowa Hakko Kirin California, Inc.   | アメリカ                                                                                                                                      |
|         | ProStrakan Group plc                 | イギリス                                                                                                                                      |
|         | Strakan International S.a r.l.       | イギリス                                                                                                                                      |
|         | ProStrakan Limited                   | イギリス                                                                                                                                      |
|         | ProStrakan Pharma S.A.S              | フランス                                                                                                                                      |
|         | ProStrakan Farmaceutica SLU          | スペイン                                                                                                                                      |
|         | ProStrakan Inc.                      | アメリカ                                                                                                                                      |
|         | 韓国協和発酵キリン株式会社                        | 韓国                                                                                                                                        |
| バイオケミカル | 台湾協和発酵麒麟股份有限公司                       | 台湾                                                                                                                                        |
|         | 協和発酵バイオ株式会社                          | 本社：東京都千代田区<br>営業拠点：東京、大阪、九州（福岡市）<br>生産拠点：ヘルスケア土浦工場（茨城県稲敷郡阿見町）、山口事業所（防府市、宇部市）<br>研究拠点：ヘルスケア商品開発センター（つくば市）、バイオプロセス開発センター（つくば市）、生産技術研究所（防府市） |
|         | 第一ファインケミカル株式会社                       | 本社：高岡市                                                                                                                                    |
|         | BioKyowa Inc.                        | アメリカ                                                                                                                                      |
|         | 上海協和アミノ酸有限公司                         | 中国                                                                                                                                        |
|         | Thai Kyowa Biotechnologies Co., Ltd. | タイ                                                                                                                                        |
|         | Kyowa Hakko U.S.A., Inc.             | アメリカ                                                                                                                                      |
|         | Kyowa Hakko Europe GmbH              | ドイツ                                                                                                                                       |
|         | Kyowa Hakko Bio Italia S.r.l.        | イタリア                                                                                                                                      |
|         | 協和発酵（香港）有限公司                         | 香港                                                                                                                                        |
|         | Kyowa Hakko Bio Singapore Pte. Ltd.  | シンガポール                                                                                                                                    |
|         | 株式会社協和ウェルネス                          | 本社：東京都中央区                                                                                                                                 |
| その他     | 協和エンジニアリング株式会社                       | 本社：防府市                                                                                                                                    |
|         | 千代田開発株式会社                            | 本社：東京都中央区                                                                                                                                 |

（注）拠点名等に所在地を示す都市名が付される場合には、所在地を記載しておりません。

## (8) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社の状況

当社の親会社はキリンホールディングス株式会社であり、同社は当社の株式を288,819千株（持株比率50.10%、自己株式を控除すると持株比率52.75%）保有しております。

### ② 重要な子会社の状況

| 会社名                  | 資本金        | 当社の持株比率 | 主要な事業内容                   |
|----------------------|------------|---------|---------------------------|
| 協和発酵バイオ株式会社          | 10,000百万円  | 100%    | 医薬・工業用原料、ヘルスケア製品等の製造販売    |
| ProStrakan Group plc | 10,771千ポンド | 100%    | 医療用医薬品の開発販売（持株会社としての統括管理） |
| 協和メデックス株式会社          | 450百万円     | 100%    | 臨床検査試薬等の製造販売              |
| 第一ファインケミカル株式会社       | 6,276百万円   | 100%    | 医薬品原薬・中間体等の製造販売           |

（注）当社の持株比率は、間接保有も含めた持株比率を記載しております。

## (9) 使用人の状況（平成24年12月31日現在）

| 使用人数   | 前連結会計年度末比増減 |
|--------|-------------|
| 7,243名 | 14名増        |

（注）使用人数は、就業人員数（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、執行役員（取締役は除く。）を含み、臨時従業員は除いております。

## (10) 主要な借入先（平成24年12月31日現在）

| 借入先             | 借入残高 |
|-----------------|------|
| 株式会社みずほコーポレート銀行 | 22億円 |
| 農林中央金庫          | 22億円 |

2 会社の株式に関する事項（平成24年12月31日現在）

(1) 発行可能株式総数 987,900,000株

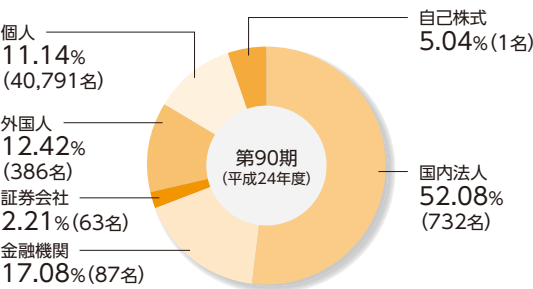
(2) 発行済株式の総数 576,483,555株

(3) 株主数 42,060名（前事業年度末比 798名減）

(4) 大株主

| 株主名                                               | 持株数     | 持株比率  |
|---------------------------------------------------|---------|-------|
|                                                   | 千株      | %     |
| 麒麟ホールディングス株式会社                                    | 288,819 | 52.75 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）                           | 22,003  | 4.01  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）                         | 14,196  | 2.59  |
| 農林中央金庫                                            | 10,706  | 1.95  |
| みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口<br>再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社 | 4,781   | 0.87  |
| 野村信託銀行株式会社（投信口）                                   | 3,905   | 0.71  |
| ジユニパー                                             | 3,384   | 0.61  |
| 協和発酵麒麟従業員持株会                                      | 3,275   | 0.59  |
| ビービーエイチ493025ブラックロツク<br>グローバルオペレーションファンドインク       | 3,175   | 0.57  |
| 第一生命保険株式会社                                        | 2,920   | 0.53  |

所有者別株式分布状況



- (注)
- 持株比率は自己株式（29,062,630株）を控除して計算しております。
  - みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社の持株数4,781千株は、株式会社みずほ銀行が委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は株式会社みずほ銀行が留保しております。

## (5) その他株式に関する重要な事項

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行し、資本効率の向上を図るため、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、平成23年8月25日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、平成24年2月23日の買付をもって取得を終了いたしました。これにより、当事業年度においては、平成24年1月1日から2月23日の間、市場取引により、8,152,000株の自己株式を総額7,461,818,055円で取得いたしました。

(注) 1. 平成23年8月25日開催の取締役会決議の内容は、次の通りです。

|            |                                                  |
|------------|--------------------------------------------------|
| 取得する株式の種類  | 当社普通株式                                           |
| 取得する株式の総数  | 25,000,000株（上限）<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合4.39%) |
| 株式の取得価額の総額 | 20,000百万円（上限）                                    |
| 取得する期間     | 平成23年8月26日～平成24年2月29日                            |

2. 上記取締役会の決議に基づき平成23年8月26日から12月31日までの間に取得した自己株式は次の通りです。

|            |                 |
|------------|-----------------|
| 取得した株式の総数  | 14,356,000株     |
| 株式の取得価額の総額 | 12,537,481,948円 |



3 会社の新株予約権等に関する事項

(1) 当事業年度末日における新株予約権の状況

- ① 新株予約権の数 285個（新株予約権 1 個につき1,000株）
- ② 新株予約権の目的となる株式の種類及び数 普通株式 285,000株
- ③ 取締役、その他の役員の保有する新株予約権の区分別合計

| 区分  | 払込金額 | 行使価額       | 行使期間                              | 個数  | 保有者数 |
|-----|------|------------|-----------------------------------|-----|------|
| 取締役 | 無償   | 1 株当たり 1 円 | 平成17年 6 月29日から<br>平成37年 6 月28日まで  | 6 個 | 1 名  |
|     | 無償   | 1 株当たり 1 円 | 平成18年 6 月30日から<br>平成38年 6 月28日まで  | 5 個 | 1 名  |
|     | 無償   | 1 株当たり 1 円 | 平成21年 6 月27日から<br>平成41年 6 月25日まで  | 12個 | 2 名  |
|     | 無償   | 1 株当たり 1 円 | 平成22年 4 月 2 日から<br>平成42年 3 月24日まで | 16個 | 3 名  |
|     | 無償   | 1 株当たり 1 円 | 平成23年 4 月 2 日から<br>平成43年 3 月24日まで | 20個 | 3 名  |
|     | 無償   | 1 株当たり 1 円 | 平成24年 4 月28日から<br>平成44年 3 月22日まで  | 38個 | 5 名  |

(注) 社外取締役及び監査役については、該当事項はありません。

(2) 当事業年度中に交付した新株予約権の状況

- ① 発行した新株予約権の数 126個（新株予約権 1 個につき1,000株）
- ② 新株予約権の目的となる株式の種類及び数 普通株式 126,000株
- ③ 新株予約権の払込金額 無償
- ④ 新株予約権の行使価額 1 株当たり 1 円
- ⑤ 新株予約権の行使期間 平成24年 4 月28日から平成44年 3 月22日まで
- ⑥ 新株予約権の行使の条件
  - ・新株予約権者は、上記⑤の期間内において、当社の取締役がその地位を喪失した日、又は執行役員がその地位を喪失した日（従業員としての地位が継続する場合は除きます。）若しくは執行役員が当社取締役又は監査役に就任した日の翌日から10日を経過する日までの期間に限り、新株予約権を行使することができるものとします。
  - ・新株予約権 1 個当たりの一部行使はできないものとします。
- ⑦ 有利な条件の内容  
当社の取締役及び執行役員に対し、株式 1 株当たりの払込金額を 1 円とする新株予約権を無償で発行しました。
- ⑧ 当社使用人（取締役兼務以外の執行役員を含む）並びに当社子会社役員及び使用人に交付した新株予約権の区分別合計

| 区分              | 新株予約権の数 | 交付者数 |
|-----------------|---------|------|
| 当社執行役員（当社役員を除く） | 88個     | 17名  |

(注) 上記以外の当社使用人並びに当社子会社役員及び使用人については、該当事項はありません。

## 4 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役の氏名等 (平成24年12月31日現在)

| 地位               | 氏名      | 担当及び重要な兼職の状況                       |
|------------------|---------|------------------------------------|
| ※ 代表取締役<br>社長    | 花 井 陳 雄 |                                    |
| 代表取締役<br>副社長執行役員 | 古 元 良 治 | 経営全般補佐、監査部、C S R 推進部 担当            |
| 取締役<br>常務執行役員    | 立 花 和 義 | 経理部、情報システム部 担当                     |
| 取締役<br>常務執行役員    | 河 合 弘 行 | 生産本部長、環境安全部、購買部 担当                 |
| 取締役<br>常務執行役員    | 西 野 文 博 | 営業本部長、渉外部 担当                       |
| 取締役              | 西 村 六 善 |                                    |
| 取締役              | 北 山 元 章 |                                    |
| 取締役              | 中 島 肇   | 麒麟ホールディングス株式会社 代表取締役常務取締役          |
| 常勤監査役            | 永 井 浩 明 |                                    |
| 常勤監査役            | 鈴 木 学   |                                    |
| 常勤監査役            | 小 林 高 博 |                                    |
| 監査役              | 高 橋 弘 幸 | 株式会社新生銀行 社外取締役<br>パナソニック株式会社 社外監査役 |

- (注) 1. 上記※の代表取締役は、執行役員を兼務しております。
2. 取締役西村六善、北山元章及び中島 肇は、社外取締役であります。
3. 常勤監査役永井浩明、小林高博及び監査役高橋弘幸は、社外監査役であります。
4. 当社は、取締役西村六善、北山元章及び監査役高橋弘幸を東京証券取引所規則に定める独立役員として同取引所に届け出ております。
5. 常勤監査役永井浩明は、金融機関における長年の経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
6. 常勤監査役鈴木 学は、当社の経理部門における長年の経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。

7. 当事業年度中における退任取締役及び退任監査役は、次の通りであります。

|                  |         |                     |
|------------------|---------|---------------------|
| 代表取締役<br>社長      | 松 田 譲   | 平成24年3月22日任期満了により退任 |
| 代表取締役<br>副社長執行役員 | 山 角 健   | 平成24年3月22日任期満了により退任 |
| 取締役<br>常務執行役員    | 常 包 芳 樹 | 平成24年3月22日任期満了により退任 |
| 取締役              | 磯 崎 功 典 | 平成24年3月22日任期満了により退任 |
| 常勤監査役            | 谷 口 明   | 平成24年3月22日任期満了により退任 |
| 常勤監査役            | 左 藤 友二郎 | 平成24年3月22日任期満了により退任 |

(2) 取締役及び監査役の報酬等の額

| 区分  | 人数  | 報酬等の額  |
|-----|-----|--------|
| 取締役 | 10名 | 295百万円 |
| 監査役 | 6名  | 88百万円  |
| 合計  | 16名 | 384百万円 |

(注) 1. 取締役の支給額には、ストックオプションによる報酬額として、29百万円が含まれております。  
2. 上記のほか、社外役員が当社親会社又は当該親会社の子会社から受けた役員としての報酬等の総額は60百万円であります。

### (3) 社外役員に関する事項

#### ① 重要な兼職先と当社との関係

取締役中島 肇は、キリンホールディングス株式会社の代表取締役常務取締役を兼務しております。監査役高橋弘幸は、株式会社新生銀行の社外取締役及びパナソニック株式会社の社外監査役を兼務しております。

なお、当社と株式会社新生銀行及びパナソニック株式会社との間に特別な関係はありません。

キリンホールディングス株式会社は、当社の発行済株式総数の50.10%を保有する親会社であり、当社の特定関係事業者であります。

#### ② 当事業年度における主な活動状況

##### (ア) 取締役会への出席状況及び発言状況

取締役西村六善及び北山元章は、当事業年度開催の取締役会15回のうち14回に出席しました。取締役中島 肇は、平成24年3月22日就任以降に開催された取締役会11回全てに出席しました。各取締役は、取締役会の意思決定の適正性を確保するための助言を行っております。

常勤監査役永井浩明は、当事業年度開催の取締役会15回全てに出席しました。また、常勤監査役小林高博は、平成24年3月22日就任以降に開催された取締役会11回全てに出席しました。監査役高橋弘幸は、当事業年度開催の取締役会15回のうち14回に出席しました。各監査役は、報告事項や決議事項について適宜質問をするとともに、必要に応じ社外の立場から意見を述べております。

##### (イ) 監査役会への出席状況及び発言状況

常勤監査役永井浩明及び監査役高橋弘幸は、当事業年度開催の監査役会14回全てに出席しました。また、常勤監査役小林高博は、平成24年3月22日就任以降に開催された監査役会11回全てに出席しました。各監査役は、監査結果を報告し、他の監査役が行った監査について適宜質問をするとともに、必要に応じ社外の立場から意見を述べております。

#### ③ 責任限定契約の内容の概要

当社は、取締役西村六善、北山元章、中島 肇、常勤監査役永井浩明、小林高博及び監査役高橋弘幸との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、5百万円又は同法第425条第1項が定める最低責任限度額とのいずれか高い額としております。

#### ④ 社外役員の報酬等の総額

社外役員7名に対する当事業年度に係る報酬等の総額は、83百万円であります。

5 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

新日本有限責任監査法人

(2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

|                                        |        |
|----------------------------------------|--------|
| ① 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額               | 82百万円  |
| ② 当社及び当社子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他財産上の利益の合計額 | 100百万円 |

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法上の会計監査人の監査に対する報酬等の額と金融商品取引法上の監査に対する報酬等の額を明確に区分しておらず、かつ、実質的にも区分できないため、上記①の金額には、これらの合計額を記載しております。

(3) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

当社監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当し、当社の会計監査業務に重大な支障があると判断したときには、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。

また、当社取締役会は、監査役会の同意を得たうえで、又は、監査役会の請求に基づいて、会計監査人が同各号に定める項目に該当すると認められる場合には、会計監査人の解任に関する議案を、また、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、会計監査人の変更が必要であると判断した場合には、会計監査人の不再任に関する議案を、それぞれ株主総会に提出いたします。

## 6 会社の体制及び方針

### 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制

当社は、会社法及び会社法施行規則に従い、取締役会において、業務の適正を確保するための体制（いわゆる内部統制システム）の整備方針を次のとおり決議しております。

#### 1. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するため、以下の体制を整備する。

- ・法令遵守を経営上の最重要課題として位置付け、コンプライアンスの基本方針を決定し、これを実効化する組織及び規程を整備する。
- ・企業倫理推進の責任を有する専任組織を設置し、教育・啓蒙活動等を実施する。
- ・内部通報制度を設置し、周知徹底を図る。また、通報者の保護を図るとともに、透明性を維持した的確な対応の体制を整備する。
- ・執行部門から独立した、内部監査を行う専任組織を設置し、法令等遵守体制の有効性のチェックを行う。
- ・財務報告の信頼性を確保するための内部統制報告体制を整備する。

#### 2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理については、管理対象情報及び管理組織を明確化し、規程の定めに従って適切に保存及び管理を行う。

#### 3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

損失の危険の管理については、グループリスク管理委員会が各組織のリスク管理活動を総括し、リスク管理に関する体制を整備する。各組織は、社内規程に基づき、所管するリスクの識別・分析・評価・対応を行う。

#### 4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役の職務の執行が効率的に行われるために、権限規程を定め、職務執行における効率性及び業務の適正性を確保する。また、業績管理制度に基づいて、業績目標を設定し、諸施策を実行する。進捗状況や実行結果を定期的にレビューし、業績目標達成に向けた改善策を立案し、実行する。

## 5. 当該株式会社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

企業集団における業務の適正を確保するために、親会社である麒麟ホールディングス株式会社のグループ運営の基本方針を尊重しつつ、グループの自律的な内部統制システムを構築する。また、子会社を管理する規程を制定して業務執行に関する責任及び権限を規定するとともに、各社業務についても内部監査専任組織による監査を実施する。

## 6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項並びに当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役の求めに応じ、必要があるときは使用人若干名に、監査役の職務の補助業務を担当させる。当該使用人が監査役の職務の補助業務を担当するときは、監査役の指揮・監督を受ける。

## 7. 取締役及び使用人が監査役会又は監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

### ① 取締役及び使用人は監査役に対し以下の報告を行う。

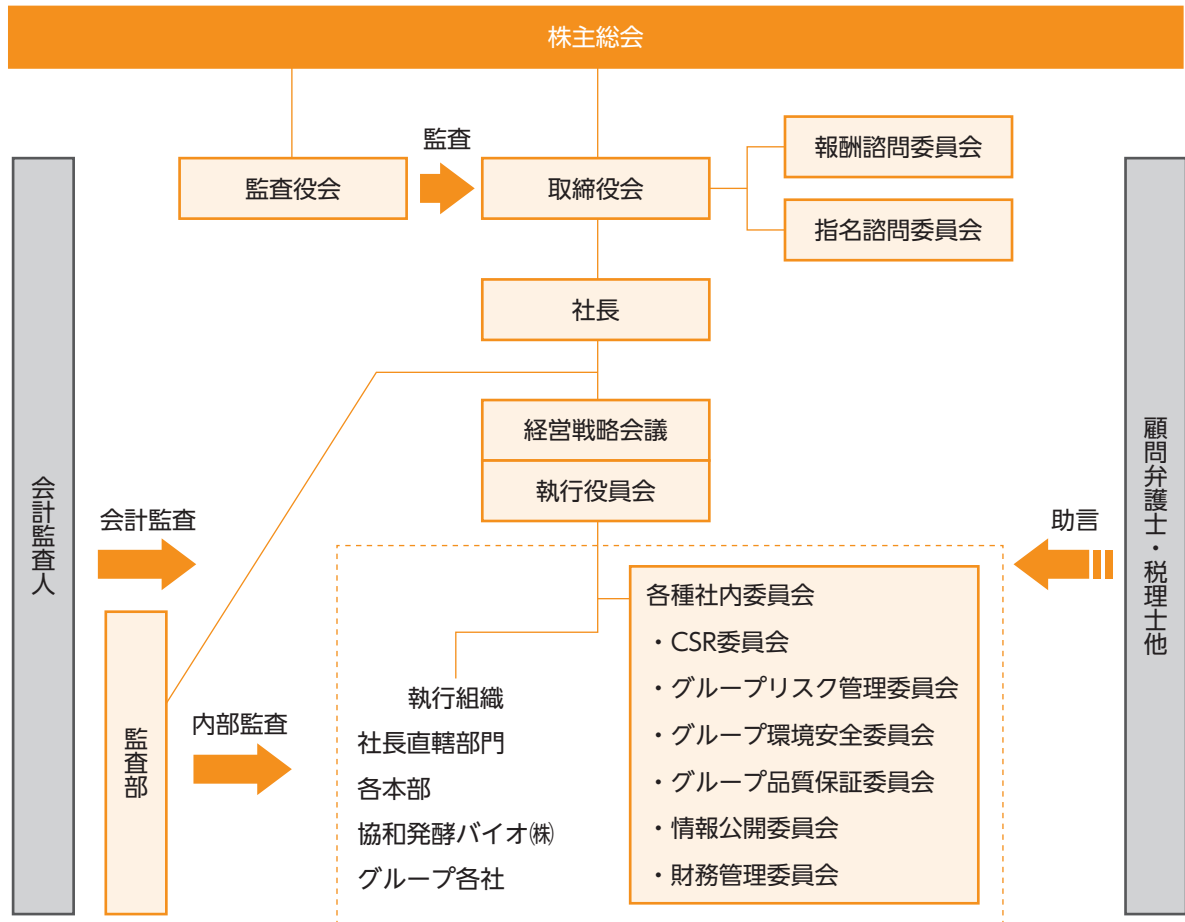
- ・取締役会に付議される事項について、事前にその内容、その他監査役監査上有用と判断される事項。
- ・会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見した場合は、その事実。
- ・取締役及び使用人が法令若しくは定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがあると考えられるときは、その旨。
- ・内部通報制度に基づいて通報された事実。

### ② 監査役は、取締役会のほか、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、必要に応じ経営戦略会議等の重要な会議に出席し、議事録、会議資料、りん議書等を閲覧することができる。

## 8. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役の監査が実効的に行われることを確保するために、監査役は内部監査専任組織等と連携した監査を実施することができる。また、取締役及び使用人は、監査役の求めに応じ適宜必要な情報提供を行う。

## コーポレート・ガバナンス体制図





# 連結計算書類

連結貸借対照表 (平成24年12月31日現在)

(単位:百万円)

| 科 目             | 金 額            |
|-----------------|----------------|
| (資産の部)          |                |
| <b>流動資産</b>     | <b>303,988</b> |
| 現金及び預金          | 21,577         |
| 受取手形及び売掛金       | 101,556        |
| 商品及び製品          | 40,334         |
| 仕掛品             | 12,176         |
| 原材料及び貯蔵品        | 10,931         |
| 繰延税金資産          | 10,369         |
| 短期貸付金           | 98,194         |
| その他             | 9,228          |
| 貸倒引当金           | △381           |
| <b>固定資産</b>     | <b>375,353</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>126,872</b> |
| 建物及び構築物         | 40,760         |
| 機械装置及び運搬具       | 19,395         |
| 土地              | 53,386         |
| 建設仮勘定           | 7,360          |
| その他             | 5,969          |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>207,506</b> |
| のれん             | 168,850        |
| 販売権             | 36,214         |
| その他             | 2,442          |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>40,974</b>  |
| 投資有価証券          | 23,654         |
| 繰延税金資産          | 7,724          |
| その他             | 9,871          |
| 貸倒引当金           | △276           |
| <b>資産合計</b>     | <b>679,342</b> |

| 科 目                | 金 額            |
|--------------------|----------------|
| (負債の部)             |                |
| <b>流動負債</b>        | <b>85,774</b>  |
| 支払手形及び買掛金          | 26,303         |
| 短期借入金              | 5,699          |
| 未払金                | 29,009         |
| 未払法人税等             | 15,777         |
| 売上割戻引当金            | 771            |
| ポイント引当金            | 187            |
| 賞与引当金              | 241            |
| その他                | 7,784          |
| <b>固定負債</b>        | <b>37,668</b>  |
| 繰延税金負債             | 11,262         |
| 退職給付引当金            | 19,503         |
| 役員退職慰労引当金          | 114            |
| 環境対策引当金            | 331            |
| 資産除去債務             | 383            |
| その他                | 6,074          |
| <b>負債合計</b>        | <b>123,443</b> |
| (純資産の部)            |                |
| <b>株主資本</b>        | <b>560,663</b> |
| 資本金                | 26,745         |
| 資本剰余金              | 512,329        |
| 利益剰余金              | 48,127         |
| 自己株式               | △26,538        |
| <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>△5,792</b>  |
| その他有価証券評価差額金       | △2,264         |
| 為替換算調整勘定           | △3,528         |
| <b>新株予約権</b>       | <b>203</b>     |
| <b>少数株主持分</b>      | <b>823</b>     |
| <b>純資産合計</b>       | <b>555,898</b> |
| <b>負債純資産合計</b>     | <b>679,342</b> |

# 連結損益計算書 (平成24年 1月 1日から平成24年12月31日まで)

(単位:百万円)

| 科 目                   | 金 額    |                |
|-----------------------|--------|----------------|
| <b>売上高</b>            |        | <b>333,158</b> |
| 売上原価                  |        | 122,467        |
| <b>売上総利益</b>          |        | <b>210,690</b> |
| 販売費及び一般管理費            |        | 157,785        |
| <b>営業利益</b>           |        | <b>52,905</b>  |
| 営業外収益                 |        |                |
| 受取利息及び配当金             | 1,598  |                |
| その他                   | 2,568  | 4,167          |
| 営業外費用                 |        |                |
| 支払利息                  | 205    |                |
| 持分法による投資損失            | 4,861  |                |
| その他                   | 3,003  | 8,070          |
| <b>経常利益</b>           |        | <b>49,001</b>  |
| 特別損失                  |        |                |
| 減損損失                  | 1,341  |                |
| 関係会社整理損               | 1,035  |                |
| 投資有価証券評価損             | 1,007  |                |
| 投資有価証券売却損             | 344    |                |
| 事業再編損                 | 247    | 3,976          |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>    |        | <b>45,025</b>  |
| 法人税、住民税及び事業税          | 24,095 |                |
| 法人税等調整額               | △3,485 | 20,609         |
| <b>少数株主損益調整前当期純利益</b> |        | <b>24,415</b>  |
| 少数株主利益                |        | 215            |
| <b>当期純利益</b>          |        | <b>24,199</b>  |

招集通知

株主総会  
参考書類

添付書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

1.参考

# 連結株主資本等変動計算書（平成24年1月1日から平成24年12月31日まで）

（単位:百万円）

|                               | 株主資本   |         |         |         |         |
|-------------------------------|--------|---------|---------|---------|---------|
|                               | 資本金    | 資本剰余金   | 利益剰余金   | 自己株式    | 株主資本合計  |
| 当期首残高                         | 26,745 | 512,348 | 34,956  | △19,194 | 554,856 |
| 連結会計年度中の変動額                   |        |         |         |         |         |
| 剰余金の配当                        |        |         | △11,028 |         | △11,028 |
| 当期純利益                         |        |         | 24,199  |         | 24,199  |
| 自己株式の取得                       |        |         |         | △7,511  | △7,511  |
| 自己株式の処分                       |        | △19     |         | 167     | 147     |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額（純額） |        |         |         |         |         |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | －      | △19     | 13,170  | △7,344  | 5,807   |
| 当期末残高                         | 26,745 | 512,329 | 48,127  | △26,538 | 560,663 |

|                               | その他の包括利益累計額      |              |                   | 新株予約権 | 少数株主<br>持分 | 純資産<br>合計 |
|-------------------------------|------------------|--------------|-------------------|-------|------------|-----------|
|                               | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | その他の包括<br>利益累計額合計 |       |            |           |
| 当期首残高                         | △3,144           | △12,841      | △15,986           | 250   | 902        | 540,023   |
| 連結会計年度中の変動額                   |                  |              |                   |       |            |           |
| 剰余金の配当                        |                  |              |                   |       |            | △11,028   |
| 当期純利益                         |                  |              |                   |       |            | 24,199    |
| 自己株式の取得                       |                  |              |                   |       |            | △7,511    |
| 自己株式の処分                       |                  |              |                   |       |            | 147       |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額（純額） | 880              | 9,313        | 10,194            | △47   | △79        | 10,067    |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | 880              | 9,313        | 10,194            | △47   | △79        | 15,875    |
| 当期末残高                         | △2,264           | △3,528       | △5,792            | 203   | 823        | 555,898   |

貸借対照表（平成24年12月31日現在）

（単位:百万円）

| 科 目             | 金 額            |
|-----------------|----------------|
| （資産の部）          |                |
| <b>流動資産</b>     | <b>229,684</b> |
| 現金及び預金          | 3,283          |
| 売掛金             | 71,758         |
| 商品及び製品          | 15,321         |
| 仕掛品             | 6,226          |
| 原材料及び貯蔵品        | 5,551          |
| 前払費用            | 902            |
| 繰延税金資産          | 8,017          |
| 関係会社短期貸付金       | 113,709        |
| その他             | 4,914          |
| <b>固定資産</b>     | <b>216,775</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>44,011</b>  |
| 建物              | 23,519         |
| 構築物             | 1,248          |
| 機械及び装置          | 5,287          |
| 車両運搬具           | 18             |
| 工具、器具及び備品       | 2,924          |
| 土地              | 6,626          |
| 建設仮勘定           | 4,319          |
| その他             | 67             |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>10,043</b>  |
| 販売権             | 8,434          |
| その他             | 1,608          |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>162,719</b> |
| 投資有価証券          | 13,826         |
| 関係会社株式          | 115,095        |
| 関係会社社債          | 6,450          |
| 関係会社出資金         | 6,498          |
| 長期前払費用          | 3,787          |
| 繰延税金資産          | 13,882         |
| その他             | 3,214          |
| 貸倒引当金           | △36            |
| <b>資産合計</b>     | <b>446,459</b> |

| 科 目                 | 金 額            |
|---------------------|----------------|
| （負債の部）              |                |
| <b>流動負債</b>         | <b>58,980</b>  |
| 買掛金                 | 10,059         |
| 短期借入金               | 4,580          |
| 未払金                 | 20,443         |
| 未払費用                | 118            |
| 未払法人税等              | 14,979         |
| 預り金                 | 7,376          |
| 売上割戻引当金             | 209            |
| その他                 | 1,212          |
| <b>固定負債</b>         | <b>16,768</b>  |
| 退職給付引当金             | 13,687         |
| 環境対策引当金             | 98             |
| 資産除去債務              | 262            |
| その他                 | 2,720          |
| <b>負債合計</b>         | <b>75,748</b>  |
| （純資産の部）             |                |
| <b>株主資本</b>         | <b>371,551</b> |
| <b>資本金</b>          | <b>26,745</b>  |
| <b>資本剰余金</b>        | <b>103,807</b> |
| 資本準備金               | 103,807        |
| <b>利益剰余金</b>        | <b>267,537</b> |
| 利益準備金               | 6,686          |
| その他利益剰余金            | 260,851        |
| 特別償却準備金             | 113            |
| 固定資産圧縮積立金           | 1,477          |
| 別途積立金               | 199,924        |
| 繰越利益剰余金             | 59,336         |
| <b>自己株式</b>         | <b>△26,538</b> |
| <b>評価・換算差額等</b>     | <b>△1,044</b>  |
| <b>その他有価証券評価差額金</b> | <b>△1,044</b>  |
| <b>新株予約権</b>        | <b>203</b>     |
| <b>純資産合計</b>        | <b>370,710</b> |
| <b>負債純資産合計</b>      | <b>446,459</b> |

招集通知

株主総会  
参考書類

添付書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

1.参考

計算書類

損益計算書（平成24年 1 月 1 日から平成24年12月31日まで）

(単位:百万円)

| 科 目          | 金 額     |        |
|--------------|---------|--------|
| 売上高          | 218,117 |        |
| 売上原価         | 49,218  |        |
| 売上総利益        | 168,899 |        |
| 販売費及び一般管理費   | 108,176 |        |
| 営業利益         | 60,722  |        |
| 営業外収益        |         |        |
| 受取利息及び配当金    | 2,987   |        |
| その他          | 895     | 3,883  |
| 営業外費用        |         |        |
| 支払利息         | 84      |        |
| その他          | 1,354   | 1,438  |
| 経常利益         | 63,166  |        |
| 特別利益         |         |        |
| 固定資産売却益      | 353     |        |
| 投資有価証券売却益    | 684     | 1,038  |
| 特別損失         |         |        |
| 固定資産売却損      | 741     |        |
| 減損損失         | 201     |        |
| 関係会社株式評価損    | 160     |        |
| 関係会社出資金売却損   | 128     |        |
| 投資有価証券売却損    | 3       | 1,234  |
| 税引前当期純利益     | 62,970  |        |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22,426  |        |
| 法人税等調整額      | △1,858  | 20,568 |
| 当期純利益        | 42,401  |        |

# 株主資本等変動計算書（平成24年1月1日から平成24年12月31日まで）

（単位:百万円）

|                         | 株主資本   |                    |                    |                     |          |                | 評価・換算差額等             |                | 新株<br>予約権 | 純資産<br>合計 |
|-------------------------|--------|--------------------|--------------------|---------------------|----------|----------------|----------------------|----------------|-----------|-----------|
|                         | 資本金    | 資本剰余金<br>資本<br>準備金 | 利益剰余金<br>利益<br>準備金 | その他<br>利益剰余金<br>(注) | 自己<br>株式 | 株主<br>資本<br>合計 | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |           |           |
| 当期首残高                   | 26,745 | 103,807            | 6,686              | 229,497             | △19,194  | 347,542        | △607                 | △607           | 250       | 347,185   |
| 事業年度中の変動額               |        |                    |                    |                     |          |                |                      |                |           |           |
| 積立金等の取崩                 |        |                    |                    | -                   |          | -              |                      |                |           | -         |
| 積立金等の積立                 |        |                    |                    | -                   |          | -              |                      |                |           | -         |
| 剰余金の配当                  |        |                    |                    | △11,028             |          | △11,028        |                      |                |           | △11,028   |
| 当期純利益                   |        |                    |                    | 42,401              |          | 42,401         |                      |                |           | 42,401    |
| 自己株式の取得                 |        |                    |                    |                     | △7,511   | △7,511         |                      |                |           | △7,511    |
| 自己株式の処分                 |        |                    |                    | △19                 | 167      | 147            |                      |                |           | 147       |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額） |        |                    |                    |                     |          |                | △437                 | △437           | △47       | △484      |
| 事業年度中の変動額合計             | -      | -                  | -                  | 31,353              | △7,344   | 24,009         | △437                 | △437           | △47       | 23,525    |
| 当期末残高                   | 26,745 | 103,807            | 6,686              | 260,851             | △26,538  | 371,551        | △1,044               | △1,044         | 203       | 370,710   |

（注）その他利益剰余金の内訳

|                         | 特別償却<br>準備金 | 固定資産<br>圧縮積立金 | 別途<br>積立金 | 繰越利益<br>剰余金 | 合計      |
|-------------------------|-------------|---------------|-----------|-------------|---------|
| 当期首残高                   | 25          | 1,508         | 144,424   | 83,539      | 229,497 |
| 事業年度中の変動額               |             |               |           |             |         |
| 積立金等の取崩                 | △5          | △33           |           | 38          | -       |
| 積立金等の積立                 | 93          | 2             | 55,500    | △55,595     | -       |
| 剰余金の配当                  |             |               |           | △11,028     | △11,028 |
| 当期純利益                   |             |               |           | 42,401      | 42,401  |
| 自己株式の取得                 |             |               |           |             |         |
| 自己株式の処分                 |             |               |           | △19         | △19     |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額） |             |               |           |             |         |
| 事業年度中の変動額合計             | 87          | △30           | 55,500    | △24,203     | 31,353  |
| 当期末残高                   | 113         | 1,477         | 199,924   | 59,336      | 260,851 |

独立監査人の監査報告書

平成25年2月13日

協和発酵キリン株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 杉 山 正 治 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 矢 崎 弘 直 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、協和発酵キリン株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、協和発酵キリン株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

独立監査人の監査報告書

平成25年2月13日

協和発酵キリン株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 杉 山 正 治 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 矢 崎 弘 直 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、協和発酵キリン株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの第90期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上



## 監査報告書

当監査役会は、平成24年1月1日から平成24年12月31日までの第90期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）の状況を監視及び検証いたしました。なお、金融商品取引法上の財務報告に係る内部統制については、取締役等及び新日本有限責任監査法人から当該内部統制の評価及び監査の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。

また、当該内部統制システムに関する取締役の職務の執行についても、財務報告に係る内部統制を含め、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成25年2月18日

## 協和発酵キリン株式会社 監査役会

常勤監査役（社外監査役） 永 井 浩 明 ㊞

常勤監査役 鈴 木 学 ㊞

常勤監査役（社外監査役） 小 林 高 博 ㊞

監 査 役（社外監査役） 高 橋 弘 幸 ㊞

## (ご参考) Topics 平成24年度を振り返って

### ● 1年間の取り組みをご紹介します。

- ▶ 「ポテリジオ®」のコンパニオン診断薬「ポテリジオ®テスト IHC」、「ポテリジオ®テスト FCM」新発売



- ▶ 成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）治療薬「ポテリジオ®点滴静注20mg」新発売



- ▶ 復興応援 キリン絆プロジェクト 2012年度「協和発酵キリン卓球教室」岩手県、宮城県、福島県の10会場での開催を発表

- ▶ 当社と大塚製薬株式会社による糖尿病領域とがん領域の戦略的提携について発表

- ▶ 当社と富士フイルム株式会社によるバイオシミラー医薬品の開発・製造・販売の合併会社「協和キリン富士フイルムバイオロジクス株式会社」発足

平成24年

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

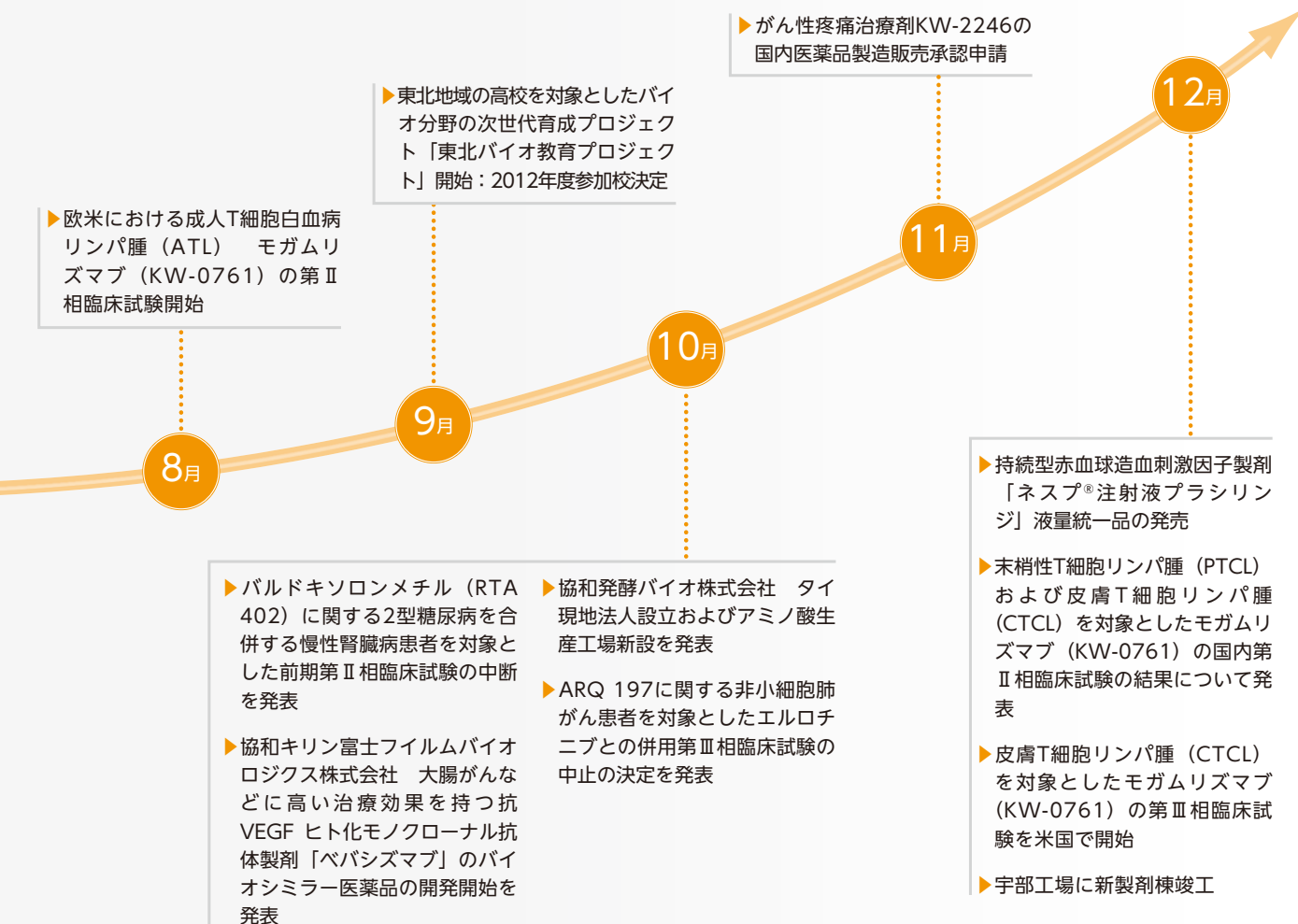
- ▶ パーキンソン病治療剤KW-6002 国内医薬品製造販売承認申請

- ▶ 第一ファインケミカル株式会社 医薬原薬製造設備竣工

- ▶ 「協和発酵キリングループCSRレポート2012」発行

- ▶ パーキンソン病治療剤「アポカイン®皮下注30mg」新発売





## ここにいる責任と幸福。

私たちの前には、いつもかけがえのないいのちがあります。

祝福されて生まれ、いつくしみの中で育ち、夢に胸をふくらませ、

しあわせになることを願って生きるいのち。

まず、私たちは、この地上でもっとも大切なもののために働いていることを、

胸の奥深くに刻みこもう。

そのために、私たち製薬会社にできることは無限にある。

自分たちを信じよう。自分たちの力を、自分たちが積み上げてきたものを信じよう。

私たちは、決して大きな会社ではない。でも私たちには、どんな大きな会社にも負けないものがある。

どこにもない歴史があり、どこにもマネのできない技術があり、

そしてどこにも負けない優秀な人材がいる。

困難をおそれない勇気を持とう。常識をつきやぶる情熱を持とう。

革新とは、ただの成長ではない。飛躍という、翼を持った成長なのだ。

その翼は、現状に満足する者には永久に与えられないことを知ろう。

つくるものは、薬だけではない。私たちは、あらゆる人の笑顔をつくろう。

人がどれほど生きることを望んでいるか。家族がどれほどその人を愛しているか。

医療に従事する人がどれほどひとつのいのちを救いたいと願っているか。

人間に与えられた感受性をサビつかせることなく、世界一、いのちにやさしい会社になろう。

世界を救うのは強さだけではない。人間のやさしさが必要なのだ。

最高のチームになろう。どんな優秀な人間も、ひとりにはあまりにも非力で、まちがうこともある。

力をあわせた人間というものが、どれほどすばらしい成果を残せるか。それを世界に示したいと思う。

スピードをあげよう。いまこうしている間も、病とけんめいに闘う人がいる。

私たちは、その闘いがどんなにひたむきであるかを知っている。

急ごう。走ってはいけないが、止まることは許されない。

そして、どんな時も誠実でありつづけよう。そのことは、心から誓おう。

私たちは薬をつくっている。人のいのちと一緒に歩いているのだ。

仕事は、人をしあわせにできる。いつも、私たちはそのことを忘れないでいよう。

私たちは、さまざまな場所で生まれ、さまざまな時間を経て、さながら奇蹟のように、

この仕事、この社会、この仲間に出会った。そのことを心からよろこぼう。

そして、いまここにいる自分に感謝し、その使命に心血をそそぎ、かけがえのない

いのちのために働くことを、誇りとしよう。

人間の情熱を、人間のために使うしあわせ。私たちは、ひとりひとりが協和発酵キリンです。

たった一度の、いのちと歩く。

開催場所が昨年と異なりますので、お間違えのないようご来場ください。



「東京駅」丸の内北口から会場まで徒歩約8分

- 千代田線
- 半蔵門線
- 丸ノ内線
- 東西線
- 三田線

「大手町駅」C13b出口より  
地下通路直結

※駐車場の用意がございませんので、公共の交通機関をご利用  
くださいますようお願い申し上げます。



会場：パレスホテル東京 2階「葵」  
東京都千代田区丸の内一丁目1番1号  
TEL(03)3211-5211(代)

パレスホテル東京

検索

〒100-8185 東京都千代田区大手町一丁目6番1号(大手町ビル)  
TEL:03-3282-0007



ユニバーサルデザイン(UD)の  
考えに基づいた  
見やすいデザインの文字を  
採用しています。